



この作品は、雨上がりの美しさとその影響をテーマにしている。雨は単なる自然現象にとどまらず、作物を育て、人々の生活に影響を与え、水中の生き物たちの命を支える存在だ。そのため、稲をモチーフに取り入れ、人と自然のつながりを表現した。また、水中に生きる魚のヒレが動く様子に注目し、それが踊るように見える生命の躍動感を描き出した。この動きには、雨の恩恵を受けて喜び舞うような雰囲気を込めている。雨がもたらす恵みと、それによって生まれる生き物たちの活気や美しさを感じられる作品を目指した。見る人に、自然の力強さや命のつながりを感じ取ってもらえれば嬉しい。

日本画

岩絵具・水干絵具・銀箔・玉虫箔・メディウム・ジェツソ・雲肌麻紙 H146cm×W227cm 1点

令和6年度 筑波大学芸術専門学群 卒業研究・作品集より

このコーナーでは、筑波大学芸術系ならびに同大学の芸術専門学群を卒業された方々のご協力のもと、芸術作品を掲載しています。